#### (公財)鳥取県産業振興機構 平成30年度実績報告

事業名・内容

事業の実績等

#### I 県内企業の経営基盤の強化の支援

- A 新たな販路の開拓や受注機会の拡大による取引量の増大を支援する。
- 1 県内企業の「自立型企業」への成長の推進
- (1)自動車関連産業育成支援事業 県内企業の自動車産業への参入 や商談の成立に向け、自動車関連 企業やメーカーと研究会等を通 じて、専門技術者や連携企業等と の連携を支援する。
- ※政策目標

新規参入 1件 受注拡大 2件

#### 【実績】

○上位企業への販路開拓のサポート

上位企業名	内容
日産自動車㈱	生産用設備への採用に向けた支援を実施、成約
マツダ株	試験装置への採用に向けた支援を実施
] - b- b ) b	開発設計部門へ県内企業を紹介し、ロディーク試作評価中
トヨタテクノクラフト(株)	救急車両への採用に向けた支援を実施
トヨタ車体㈱	開発設計部門へ県内企業を紹介し、内装部品試作評価中
株久保田鐵工所	大手自動車メーカー向け引き合いに同行支援を実施

## ○ニーズ発信会/展示会商談会/セミナー

開催	名称	内容
1/22	マツダ技術ニーズ発信会 in	マツダ㈱の現状と課題について、県内
1/22	鳥取(鳥取)	企業を対象にした解説を実施
1/31	中国5県『新技術・新工法展示	中国経産局主催の㈱デンソー向け展
-2/1	商談会 in デンソー』(愛知)	示商談会に県内企業が参加してPR
9 /15	自動車研究会だナ(鳥取)	次世代自動車へのシフトに向けた対
3/15	日期単研允芸以)(鳥取)	応等について有識者による講演を実施

#### (2)製品開発支援事業

製品開発支援及び製品の販路 開拓を一元的に推進するため、 県内企業の製品開発を伴走型で 支援し、その成果である製品の 販路開拓を支援する。

#### 【実績】

- ○建築業の現場ニーズから生まれたアイデアの事業化
  - ·株式会社KENZEN (30年度新規)
  - ・はつり作業の効率化を支援する建設機械(商標「楽サポール」)の開発
  - ·経営革新計画承認申請支援
- ○建設業に資材製造業を加えた業態拡大
  - ·株式会社徳永組(継続案件)
  - ・仮設工事現場で使う吊チェーン長さ調整装置(商標「キメチェン」)の 生産販売事業の支援
- ○林業用機械装置の設計・開発
  - ・有限会社ウエスト興業八頭(継続案件)
  - ・林業用機械装置(グラップる)の設計、開発、事業化伴走支援
  - ·経営革新計画承認申請支援

- (1) はつり作業の効率化を支援機具(楽サポール)の生産販売事業
  - ・アイデアの基本設計
  - ・商標取得支援⇒「楽サポール」、特許ストーリー構築、特許出願
  - ・1次試作、2次試作実施中
- (2) 吊チェーン長さ調整装置 (キメチェン) の生産販売事業
  - ・特許2件、意匠登録、商標「キメチェン」
  - · 県新技術登録、国交省NETIS登録
  - 事業化に向けて「株式会社 鳥取資材開発」設立⇒機構内に本社設置
  - ・大手リース会社と販売契約締結
  - 量産化支援
- (3) 林業用機械装置 (グラップる) の生産販売事業
  - 基本設計支援
  - · 販路開拓支援(林業展等展示会出展)
  - · 特許戦略支援、特許登録完了
  - ・大手メーカー(マルマテクニカ)との提携支援

(3)地域中核企業創出·支援事業

当該事業は、地域経済を活性化するため、地域を牽引している/できる「地域中核企業」を創出し、その成長を支援するもの。支援人材(プロジェクトマネージャー、コーディネーター)の人脈や知見、各種支援施策・支援機関等の全国のリソースを活用しつつ、地域中核企業等が取り組む事業実施体制の整備、新技術・サービスの開発や活用、事業化戦略の策定や販路開拓等を支援する。

#### 事業の実績等

#### 【実績】

30年度は2件(ビック・ツールと寺方工作所)採択した。

①株式会社ビック・ツール

事業名:「月光ドリルの航空機材料穿孔工程における顕著な優位性を示し、航空機分野への 更なる販路開拓」

マネージャー: 畠中 豊氏 (川崎重工航空宇宙システムカンパニー (KHI社) OB) コーディネーター: 黒住昭夫氏 (川重商事OB、元産国際BCコーディネーター)

②株式会社寺方工作所

事業名:「高度に温度管理された温間鍛造技術によって実現できる高精度、低コスト部品の 提案による販路拡大」

マネージャー: 生田清敏氏 (マツダ(株) 品質管理部OB) コーディネーター: 福留信夫氏 (マツダ(株) 購買企画部OB)

#### 【成果】

- ①機体材料に係る販売戦略として当初目標としていたKHI社名古屋工場への販路は、B787機体材料であるCFRP向けとして、川重商社を通じて提供することなり、成就したものと思料。ブランクの超硬材とダイヤモンドコーティングの組合せとして、超硬材料はセラティージット社製(ベルギー)、ダイヤモンドコーティングは新明和工業と設定した。
- ②新技術『温度制御加工法』を自動車業界に売り込むため、テレビ新広島の企業向け番組『情熱企業』での同社技術の放映(2019. 2. 17)、専門誌『自動車技術 2018. 12月号』への論文掲載、マツダVEセンターでの部品展示、各種展示会出展支援等により、広報へ取り組んだ。また、自動車メーカー及び一次サプライヤー数社を訪問、新技術をPRし、個別マッチングを図った。加えて、ターゲットとなる部品の絞込みにも取り組んだ。成果として数社からの見積依頼を得た他、今後につながる関係性を築くことができた。

## (4)福祉車両部品研究会開催事業

鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクトの「福祉車両部品販路拡大事業」の委託事業として、県内企業の企業規模に適すると思わる福祉車両部品分野に関する研究会を行い、販路開拓に役立つ知見を得る機会を提供する。

#### 【実績】

○Tier0の特装車両メーカーの協力により、3回シリーズの特装車両部品研究会を実施した。

項目	内容	参加
第1回:10/16開催 「特装車両分野に関する講演」	(㈱東海特装車より有識者を招き、特装車両 分野の現状、今後の可能性及び技術ニーズ 等について、講演を実施	10社
第2回:11/13-14開催 「特装車両メーカー及びサプライヤー等 の見学及び意見交換会」	㈱東海特装車及びTier1の㈱中日技研の工場見学、経営幹部との意見交換を実施。また㈱デンソー等の上位企業の工場を見学	10社
第3回:12/10-11開催 「特装車両メーカーによる県 内企業訪問」	㈱東海特装車の工場責任者による県内企 業の現場見学と意見交換会を実施	3社

- ○特装車両メーカー及びサプライヤーの生産現場を見学することにより、県内企業の既存技術で対応可能なことを研究会参加企業が理解できた。
- ○特装車両メーカーとのマッチングを行い、取引に意欲を示す県内企業が開拓でき、特装車両分野が今後ターゲットとすべき事業分野であるとの認識が持て、他メーカー系の特装車両分野への横展開の可能性につなぐことができた。

#### 2 県内企業の受注促進・販路開拓の支援

## (1)受発注情報等収集提供事業

①県内に企業取引コーディネーター(以下、CDという)を2名配置し、県内企業の販路支援や県外発注情報を県内企業に紹介し、県内中小企業の受注機会の拡大に繋げる。併せて、発注開拓担当CDを東京、大阪、名古屋に配置。県外の発注企業を訪問し、情報収集に努めるとともに、県内の企業取引CDと連携しビジネスマッチングを行う。

#### ※目標

発注件数 600件 成約件数 200件

②県内に販路開拓CDを配置し 県内企業が開発した製品を県 内外に販路の開拓を行い事業 拡大に繋げる。

#### ※政策目標

成約件数 4件

#### 【実績】

- ○支援状況
  - (1) 受発注斡旋
  - ①受発注斡旋

区分(カッコ内は人数)	企業訪問件数等	企業訪問件数等
		(昨年同期)
発注開拓CD(3)	424件	429件
企業取引CD(2)	1621件	1,601件
合計	2,045件	2,030件
あっ旋(見積り)件数	465件	597件
成約件数	175件	191件
成約率	37.6%	32.0%
取引成立金額	329,430千円	432,988千円
	(成立当初受注額)	(成立当初受注額)

#### 【成果】

- ○受注が急激に落ちている企業に対して、緊急対策として発注企業を9社開拓して仕事量 を確保した。
- ○「鳥取県受注企業ガイドブック」を更新し、県内のものづくり系受注企業の特徴を明確 にわかりやすくした。

#### (2) 製品販路開拓

①製品販路開拓

商談先へのコーディネーター同行による商談サポートを実施した。

製品名	内容
現場改善IoTツール(株サンテクノ)	県内/県外の企業に納入(成立3件(210千円))
患者見守りシステム(㈱ジーアイシー)	県内の大手病院に採用が決定(成立1件(8,880千円))
ハシゴ転落防止冶具(侑松村精機)	県内企業に納入(成立5件(200千円))
ハシゴ転落防止冶具(有松村精機)	県内企業に納入(成立5件(200千円))

<sup>※</sup>その他、商談継続中4社

②中小機構テストマーケティング

中小機構を活用した大都市圏向け販路開拓支援を実施した。

1 1 1/2/11 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	1 1 1/2/11 212/11 31/2/ (11/11/12/11 11/1/2/ (2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2				
製品名	内容				
HPCコンクリート(郡家コンクリート工業株)	首都圏の企業訪問後のフォローを実施				
救急処置シーネ (有サンパック)	採択に向けたプレゼン準備を支援				
高齢者総合機能評価システム(株エッグ)	採択に向けたプレゼン準備を支援				

#### 【成果】

○機構と中小機構とのパイプができ、県内企業がテストマーケティング事業を活用して 首都圏への販路開拓する一つのチャネルができた。

### (2) 専門展示会出展支援事業

①県内企業の製品・技術を広くア ピールし、新規取引先の開拓や 販路の拡大を支援するため、東 京、大阪、名古屋等大都市圏で 開催される集客能力の高い専 門展示会に鳥取県ブースを設 置する。

## ※目標

成約件数35件

(ものづくり商談会との合計)

②専門展示会へ自社で出展する 費用を助成する。

## ※目標

専門展示会出展助成10件

## 【実績】

○専門展示会(国内)出展状況

期日	名称	企業数	商談件数	成立件数	成立金額
5/22~5/25	NEW環境展	8社※)	84件	2件	470千円
6/20~6/22	機械要素技術展	7社	78件	4件	694千円
11/7~11/10	メッセナゴヤ	4社	25件	0件	0千円
3/5~3/8	建築・建材展	4社	56件	2件	309千円

成立金額 合計 1,473千円

- ※)共同出展(販路開拓支援部 4社 + 知的所有権センター 4社)
- ○専門展示会出展助成事業(個別出展支援) 13社(H29年度:11社)

#### 【成果】

○出展企業の約9割が出展して良かったと評価、次回もぜひ出展したいとの意向。

#### (3) 商談会等開催事業

ものづくり及び食品系企業の 販路開拓を支援するため各種商 談会を開催し、新たな販路開拓・ 受注拡大に繋げる。

#### ※目標

- ものづくり系 成約件数35件 (専門展示会との合計)
- ・食品系 新規取引件数50件 新たな販路開拓5件

#### 事業の実績等

#### 【実績】

○ものづくり関係(商談会)

_				
開催	名称	参加者数	商談件数、成立件数	成立金額
		(単位:社)	折衝状況	
9/13	中国ブロック合同	発注:78社	商談件数58件、成立7件	67,960千円
	広域商談会(広島)	受注:14社	商談継続中14件	07,900 [円
9/18	モノづくり受発注	発注:91社	商談件数57件、成立3件	358千円
	商談会(大阪)	受注:21社	商談継続中24件	398丁円
11/21	鳥取県企業発掘	発注:12社	商談件数111件、成立16件	9,467千円
	商談会(鳥取)	受注:41社	商談継続中54件	9,467十円
2/14	近畿・四国合同広域	発注:131 社	商談件数56件、成立2件	870千円
-15	商談会(京都)	受注:16社	商談継続中33件	870十円

成立金額 合計 78,655千円

#### 【成果】

○鳥取商談会に県内企業のニーズの高い分野(エレキ等)の発注企業を招聘できた。

#### ○食品関係(商談会)

- FCHH1941	人女叫为小(同称女)					
期日	名 称	バイヤー	セラー	商談 件数	成立 件数	成約金額
7/3-4	農商工連携·6次産業化食品商 談会in鳥取(首都圏)	7社	44社	122件	31件	10, 123千円
7/19	天満屋 食品商談会(米子)	6社	13社	46件	4件	330千円
10/31 -11/1	農商工連携・6次産業化食品商 談会in鳥取(関西・東海圏)	8社	33社	100件	10件	1,064千円
11/9	天満屋ストア個別商談会	1社	9社	9件	3件	127千円
3/13	伯耆の食マッチング商談会	49社	42社	118件	1件	16千円

#### 【成果】

- ・バイヤー/セラー両方のアンケートを、双方のマッチング支援に活用する仕組みを作った。
- ・新たなバイヤー10社を招聘(首都圏:2社、関西:7社、山陽1社)することで、県内企業の新たな販売チャネルの構築に寄与した。
- ・首都圏商談会参加バイヤー3社が後日鳥取フェア等を実施するきっかけ作りができた。
- ・ 商談会や個別マッチング等を通じて、15商品が定番化となった。

#### ○食品関係 (展示会及び展示商談会)

期日	名称・場所	出展 企業	商談 件数	成立 件数	成約金額
2/13-15	スーパーマーケット・ トレードショー2019	14社	199件	26件	21,065千円

## 3 県内企業の海外展開の支援

## (1)とっとり国際ビジネスセンタ 一運営事業

- ・県内企業からの海外展開に関する各種相談に対応するためのスタッフ (CD、専門相談員、外国語スタッフ (韓国、ロシア、中国)を配置する。
- ・ものづくりCDを東部駐在と し、専門相談員1名とあわせて東 部の相談窓口機能を強化

#### 【実績】

- ○専門相談員による企業支援件数:266件
  - ・海外展開戦略の相談対応事例 (株)ビックツール(アメリカ他)、(株)ニシウラ(台湾)、ワイエスエンジニアリング(タイ)

## ○外国語スタッフ支援件数:1,408件

区分		区分     件数等		内訳			
		什奴守	翻訳	通訳	相談		
支	韓国語通訳等	968	580	384	4		
援	ロシア語通訳等	130	108	14	8		
件	中国語通訳等	310	251	45	14		
数	計	1, 408	939	443	26		

※通訳、翻訳業務、相談対応や展示会等の企画立案にも参画

事業名・内容	事業の実績等
	・韓国語スタッフ:大山乳業農業協同組合、예山本精機
	・ロシア語スタッフ:ビックツール、リバードコーポレーション(株)
	・中国語スタッフ:八幡物産㈱、ウィードメディカル㈱
2 3 3 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	W. J. A 15W

#### (2)海外展開支援事業

- ・県内企業の出展意欲が高い地域 の海外見本市、商談会に出展 し、海外販路の開拓を行う。
- ・ものづくり系企業の海外販路拡大を支援するため、医療分野及び自動車分野への参入を中心として販路開拓を実施する。
- ・県内企業が行う海外販路開拓活動にアドバイザーを同行させ海外展開を支援する。
- ・県内企業が独自に行う海外展開 活動に要する経費の一部を助 成し、企業の海外展開支援を行 う。

#### 【実績】

○海外展示会商談会支援の状況:20社

開催日	商談会名	分野	企業数
9/6-9/7	9/6-9/7		3
5/17	中国自動車部品メーカーとの技術交流会 意見交換会(中国広東省広州市)	ものづくり	7

#### ※県主催事業協力分

開催日	商談会名	分野	企業数
9/13-9/16	GT I 国際貿易・投資博覧会 (韓国江原道東海市)	総合	3

○海外販路開拓活動同行支援事業件数:20件 (㈱田中製作所、(㈱ウィードメディカル、(㈱ワイエスエンジニアリング、米子製鋼㈱、(㈱ビック・ツールなど

## ○外部専門家派遣事業

採択件数の状況:5件

代件数少人优.3件						
企業名	人材派遣機 関	支援内容				
㈱アグリネット琴浦	国際社会貢献センター	<ul><li>・新商品の英文資料作成支援</li><li>・香港、台湾の食品展示会での商談同行</li><li>・既存客先への新商品紹介支援</li></ul>				
(有)タイヤセンターナ	国際社会貢	・顧客の開拓実務支援				
ガミ	献センター	・現地商談同行				
(株)ウィードメディカ ル	国際社会貢献センター	・新規顧客、代理店候補発掘、契約交渉支援 ・商品の輸出実務支援 ・展示会同行、商談アドバイス ・パートナー候補との協力体制形成への支援				
㈱勝原製作所	国際社会貢献センター	<ul><li>・ターゲット国の選定アドバイス</li><li>・市場調査</li></ul>				
リハ゛ート゛コーポ゜レーション(株)	国際社会貢献センター	・新規顧客発掘支援 ・商談アドバイス				

#### ○海外展開活動支援事業補助金の状況:13件

7477战刑日勤又饭事未開め並り状况,15十						
申請者	事業内容	金額(千円)	備考			
㈱田中製作所	イタリア個別商談等	1, 833	優良案件			
(株)ティエスピー	フランス個別商談	145				
傑Torilabo	中国個別商談	410				
(株)みささ弦楽プロジェクト	中国展示会出展	224				
傑Tree s (パン)	台湾物産展出展	903				
㈱Trans Chromosomics	アメリカ展示会出展	624				
(株)ビックツール	ロシア展示会出展等	1, 479	優良案件			
NKロジスティクスジャパン(株)	ウガンダ展示会出展	900				
(有)クレイド	タイ展示会出展	900				
(株) chromocenter	アメリカ展示会出展	778				
(株)ウィードメディカル	台湾個別商談	117				
リバードコーポレーション(株)	_		取下げ			
㈱鳥取再資源化研究所	_		取下げ			
計 (採択)	13件	8, 313				

#### 【成果】

○新規取引件数 9件

GMES:(株)ケイケイ (パラフィンバス枠金型、ルーター金型)

#### 事業の実績等

特にパラフィンバス枠金型は、㈱ケイケイの樹脂成型技術で完成品単価を抑えることができ、 販売量が約2倍となった。

- ・外部専門家:㈱アグリネット琴浦(梨ジュース)、ウィードメディカル㈱(マットレス等)
- ・同行支援:八幡物産㈱(健康食品)、ワイエスエンジニアリング㈱(もみ殻タンク)
- 個別支援: 大同端子製造㈱ (金属端子)
- ・補助金:NKロジスティクスジャパン(株)、(株)Tree s (パン)
- ○販路の拡大や新たな販路開拓など企業の積極的な海外展開に貢献
  - ・大同端子製造㈱:新規に海外展開を開始し、個別支援で少額ではあるが成約となったことから、展開意欲が増し継続的な展開を開始。
  - ・㈱アグリネット琴浦・侑タイヤセンターナガミ・ウィードメディカル㈱: 昨年度から海外 展開を開始し、外部専門家派遣及び専門スタッフの支援により独自で営業・貿易実務がで きるようになってきた。
  - ・中国自動車部品メーカーとの技術交流会により、スペックインが始まった企業もあった。

# (3)「食のみやこ」鳥取県輸出促進活動支援事業

## 食品系企業の海外展開活動を 支援するため、市場として有望 と考えられる華南地域(台湾、 マカオ等)において物産展等を 開催し、水産物を中心とした加 工食品や日本酒等の販路開拓を 図る。

#### 【実績】

○有力バイヤー招聘による県内企業視察及び商談参加企業の状況:42 社

開催日	内容	企業数
9/3 - 4	台湾バイヤー招聘(高級スーパー向け)	18 社
10/29-30	台湾バイヤー招聘(鳥取和牛)	4社
11/15-17	香港バイヤー招聘(農作物)	4社
12/20-22	香港バイヤー招聘(農水産物、加工品等)	16 社

#### 【成果】

【実績】

- ○新規成約数 10件 成約見込数 10件
- ・台湾バイヤー (鳥取和牛) 招聘では、県の施策と連携し事業実施したところ、1 社と成約。 商品の評価は高く、またバイヤーとの信頼が高まった結果、更に販路が拡大している。
- ・香港バイヤー(農水産物等)では、長年日本食材輸入を手掛け、優良バイヤーとして有名な社を招聘でき、成約が7件あった。

#### B 県内企業の経営改善を支援する。

#### 1 相談窓口の設置及び専門家の派遣

#### (1) 専門家派遣事業

中小企業者の依頼により「ISO 取得」「技術相談」「IT化の推進」 「ビジネスプランの作成」「情報 セキュリティ対応」など各分野の 専門家(経営革新アドバイザー) を派遣する。

専門的知識を持ち業界動向に精通した専門家の協力を得ながら、企業カルテを活用した支援企業に最適な個別の戦略と支援方法を検討し、経営者と共に考え、共に動くような支援(ハンズオン支援)を実施。

○専門家派遣件数(実施ベース)

11 12/1/WE11 30(1)(V)		
項目名	件数	主な内容
経営全般	1件	事業計画立案~実践、幹部育成、人事/労務管理
技術	3件	生産性向上、品質向上、リート、タイム短縮、3DCAD修得
マーケティング	0件	新商品のコンセプトメイク、ブランディング
IT	4件	HP作成支援、既存HPリニューアル、情報活用
ISO	7件	ISO認証取得支援
その他	13件	人材育成、コミュニケーション力向上、工場管理
合計	28件	

年間目標達成率 (件数ベース):83% (計画34件) ※その他、中小企業庁のミラサポ専門家派遣にて対応 (17件)

#### 【成果】

- ・派遣利用企業へのアンケートで、回答企業から専門家のアドバイスが参考になり、組織活性化、経費削減、売上増加、情報化推進に効果があったとの回答を得た。 その他「ユーザーの需要に対応できた」、「技術料が向上した」、「人材育成ができた」等複数の企業から固有の効果があったとの回答を得た。
- 〇「ハンズオン支援」企業数:7社(計画7社) 計画100%

#### 【成果】

・派遣利用企業へのアンケートで、回答企業から専門家のアドバイスが参考になり、経費の 削減、組織活性化に効果があったとの回答を得た。又、それ以外に回答企業から「新規事業 の立ち上げに効果があった」との回答も得た。

#### (2) 再生支援協議会事業

経営状況の悪化しつつある事業者の方に、各地域の関係機関や専門家と連携して、事業の再生や経営改善の支援を行う。

また、経営者保証ガイドラインによる保証債務の整理支援も行う。

#### 【目標】

再生計画策定完了数: 15件 抜本再生計画策定数: 4件 経営者保証 GL 一体型: 3名 経営者保証 GL 単独型: 1名

#### 事業の実績等

#### 【実績】

#### ○窓口相談(1次対応)実績

前年度繰越	本年度発生	小 計	対応中	2次対応移行	終了
4	1 6	2 0	3	12	5

\*終了:各種アドバイスの実施や関係支援機関への紹介で終わった案件

#### 窓口相談(1次対応)持込状況(本年度発生分16件の内訳)

山陰合銀	鳥取銀行	倉吉信金	米子信金	保証協会	よろず	直接
6.5	0. 5	1	2	1	1	4

## ○再生計画策定(2次対応) ( )=うち抜本再生件数

前年度繰越	本年度発生	小 計	対応中	策定完了	終了
7 (4)	1 4 (6)	2 1 (1 0)	9 (4)	1 2 (6)	(0)

※終了:計画が策定できなかった案件

## ○担当者1人当り処理件数実績

	鳥取県	中国4県平均	全国平均
窓口相談(1次対応)	6.67	8.23	9.37
再生計画策定(2次対応)	5.00	5.05	5.00
経営者保証GL支援数	5.00	1.04	1.05

※平均人員 鳥取2.4・島根2.8・岡山3.2・広島4.0・山口4.0

## ○再生計画策定企業に係る雇用の確保(509人)12社合計 (業種別内訳)

()(( <u>I</u> )) 1 1 1 1 (			
業種	先数	雇用確保数	所在
製造業	6	219	東部・中部・西部
旅館業	1	2 0	東部
卸・小売業	3	185	東部・西部
飲食業	1	7 8	西部
建設	1	7	東部
合 計	1 2	5 0 9	

#### ○経営者保証ガイドライン支援対応数

- ・一体型 5事業先15名(仕掛中1事業先3名を除き完了)
- ・単独型 1事業先 2名(全て仕掛中)

- ・再生計画策定完了数:12件/15件(仕掛中9件)
- · 抜本計画策定完了数:6件/4件(仕掛中4件)
- ・経営者保証ガイドライン支援完了数:一体型12名/3名、単独型0名前/1名 (仕掛中3名) (仕掛中2名)
- ・再生計画策定完了後のフォローについては対象先全てについて実施し、適宜の指導や計画修正の検討も行いながら2次破綻防止に努めた。
- ・再生計画策定数 (2次完了) の増加に向け、金融機関からの案件持込み活動や他の支援機関からの案件引継について諸施策を実行。結果として再生計画策定完了数は目標比未達となったが予定分を含め次年度案件の確保に繋げることが出来た。
- ・金融機関を経由しない事業者による直接相談件数の増加が今後の課題。
- ・昨年度からの傾向として難易度の高い案件が増加。協議会が主体性を更に発揮し案件の処理スピードを向上させることも今後の課題。

#### (3)経営改善計画策定支援事業

自らでは経営改善計画の策定が 困難な事業者が、外部専門家から 経営改善計画策定の支援及びモニタリングを受ける場合に発生 する費用の補助を行う。

#### 【目標】

利用申請決定(従来型):24件利用申請決定(早期型):24件

#### 事業の実績等

120R1							
	利	用申請決定件	数	中小企業事業者比率			
	目標 実績 達成率			実績	中国平均	全国平均	
従来型	2 4	2 1	88%	0.12%	0.06%	0.04%	
早期型	2 4	1 3	5 4%	0.08%	0.12%	0.11%	

#### 【成果】

【実績】

- ・従来型:中小企業数利用申請決定比率0.12%は全国第2位(1位富山0.18%)
- ・早期型:中小企業数利用申請決定比率0.08%は全国第33位
- ・従来型は、主要な認定支援機関(連合会、協会、税理士、コンサル)との連携により案件相談を受けやすい体制を確立しているが利用申請決定数は伸びを欠いた。
- ・早期型 (H29 年度からの新規事業) は、TKC税理士会メンバーへのPRにより推進を行ったが、中国4県・全国平均実績比で見劣りしており利用促進が課題。

#### (4)事業引継ぎ支援事業

後継者問題を抱える中小企業や 小規模事業者の事業引継ぎや事 業承継の促進・円滑化を図るた め、課題解決に向けた助言、情報 提供及びマッチング支援等を実 施する。

#### 【実績】

- ○とっとり企業支援ネットワーク連携機関である、金融機関等連携支援機関に向けた「事業承継セミナー」を17回開催
  - ○新規相談事業者受付先数118先(うち譲渡相談55件)

内、当センターへの直接相談48先、金融機関からの情報入手43先、その他27先となっており、今後も周知(HP含め)・広報の活動が必要であると考えている。

○相談回数 387回(全国本部集計数字)

#### 【成果】

- ・単年度マッチング実績20件(設立以来の累計47件)目標達成率71.42%
- ・後継者人材バンクに係る「新規登録」7件

# (5) プッシュ型事業承継支援高度化事業

後継者問題を抱える中小企業・ 小規模事業者の事業の引継ぎや 承継について、主に親族・従業員 承継を支援する。

## 【実績】

- ○鳥取県事業承継ネットワークを立上げ(センター内に、鳥取県事業承継ネットワーク地域事務局を設置)、士業専門家等による、承継コーディネーター4名をセンターに、またブロックコーディネーターを東部2名・中部4名・西部2名配置した
- ○各金融機関、商工団体等を通じて「事業承継診断アンケート」を実施

#### 【成果】

事業承継アンケート:430先

### 2 設備貸与事業等

- (1)中小企業ハイテク設備貸与事業
- (2) 設備貸与事業
- (3) 創造的中小企業育成支援事業

### 【実績】

○債権回収等の状況

(平成19年度から新規貸付を停止。現在は債権の管理回収のみ)

区分	中小企業ハイテク設備貸与事業	設備貸与事業
正常先	0社	0社
未収先	1社	6社
破綻先	4社	4社

○破綻先、未収先からの回収状況

事 業 名	金額(円)
中小企業ハイテク設備貸与事業	0
設備貸与事業	1, 175, 700
創造的中小企業育成支援事業	0
合 計	1, 175, 700

※現在は上記債権及び償却済債権の求償権の管理・回収のみ

### 【成果】

・平成26年に全ての設備を償却し、現在は債権及び償却済債権の求償権管理・回収のみ。 破綻先企業1社の返済額について交渉し、増額の了解を得た。

#### Ⅱ 県内企業の技術及び経営の革新による新事業・新分野への進出を支援

- A 企業の創出及び育成を支援する。
- 1 起業創業チャレンジ事業による新たな企業の創出・育成

## 起業創業チャレンジ総合支援事

新たな技術や経営ノウハウ等をもった革新的な中小企業等を 創出・育成し、その活動を後押 しすることで、県経済の活性化 と雇用に資する。

#### 【実績】

○起業創業チャレンジ補助金

(新規採択:5件)

事業者名	事業名	
松原雄平	アスベスト含有建材の無害化事業	
(株)ダブルノット	地元企業のデジタル化を促進し、収益拡大につなげること ができるデジタル利活用人材育成事業。	
(株)ライフデザイン	リハビリ専門職を多数配置した歩行訓練に特化したデイサ ービスを新設し、地域の高齢者の健康増進施設をつくる	
ことりのえん(株)	ICU(情報通信技術)を活用し、遠隔診療支援を行うとで、中山間地域の活性化を推進する訪問看護事業。	
ステンレス発色のオンリーワンの技術を活用し、 差別化出来る製品を提供する事業。		

(申請・採択状況等)

·審查会 3/14 申請件数:5件 採択件数8件

○起業相談会の開催

宋 [[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [				
件数	内 容			
	起業相談会を開催し、創業者・創業希望者等による相談に対応			
36回開催 開催場所:鳥取県立図書館				
倉吉市立図書館				
	米子市立図書館			
相談22件	連携団体等: (一社) 鳥取県中小企業診断士協会			
	日本政策金融公庫(鳥取支店、米子支店)			

○専門家派遣

4件

#### 【成果】

○起業創業チャレンジ補助金採択企業 起業による雇用の創出37名

## 2 起業化促進ファンド事業

起業化促進ファンド事業

起業化促進ファンドを造成しそ の運用益を活用することで、中小 企業者等が行う先端技術分野等 における起業支援を行う。

#### 【実績】

- ○起業化促進事業助成金交付要領の制定
- ○とっとり起業化促進事業助成金の公募

公募期間 平成30年6月20日(水)~平成30年8月17日(金)

応募企業 5社

○審査会開催 平成30年11月13日 (火) 午後1時から午後5時まで

場所 鳥取ワシントンホテルプラザ 2階 若葉の間

○採択企業 1社

事業者名	代表者名	事業名
株式会社Trans Chromosomics	代表取締役	完全ヒト抗体によるがん転移抑
鳥取県米子市西町86番	押村 光雄	制剤の開発

#### 【成果】

○先端技術分野等における起業事業者を5件発掘できた。

- B 成長産業分野の産業集積を支援する。
- 1 医療・福祉機器関連産業の育成

#### (1)医工連携推進事業

県内中小企業の医療機器関連 分野への参入を支援するため に、医工連携コーディネーター を配置し、「とっとり医療機器関 連産業戦略研究会」の運営を通 して、同分野による産業振興を 図る。

#### 【実績

- 県内中小企業の医療機器関連 │○『医療現場ニーズ発表会 in 鳥取大学』(9/25) を開催 (※本年度初)
  - ・鳥取大学医学部附属病院新規医療研究センターと連携し、同病院の医師等4診療科5者より計17件の臨床ニーズを発表。県外製販業14社19名等51名が参加。
  - ・4ニーズに対して2社が反応。鳥取大学、製販業、県内企業によるプロジェクト化を図る。
  - ○『鳥取県 医療・福祉関連機器展示会 in 関西』(3/14)を開催(※本年度初)
    - ・参加企業 18 社、鳥大附属病院
    - · 来場者数:91 名
    - ・実績/成立:1件、見積依頼や試作依頼(後日含む):8件、後日連絡等:14件
  - ○専門展示会への出展支援
    - ・国際福祉機器展 H.C.R. 2018 (10/10~12) : 2社 (㈱ニシウラ、ブライアンテック(有)) が出展。来社:104 社、有効商談件数:14 件。
    - ・医療機器開発製造展(2/20~22):4社(イナバゴム㈱、(㈱A&M、協同電子㈱、(有)ホームケア渡部建築)が出展。来社:258社、有効商談件数:53件。
  - ○鳥取県医療機器展示商談会 in 本郷(11/29)
    - ・参加企業 13 社、鳥大附属病院、産技C
    - ・商談件数:37件(本郷製販企業14社)
    - ・商談は、事前調整の案件のみならず、当日の来場者とも活発に行われた。
  - ○医療機器開発補助金
    - ・平成29年度に採択された3社について、医療・福祉関連機器の開発、医療機器製造業取得、 IS013485認証取得等に関する資金支援を行い、それぞれ成果をあげている。

企業名	テーマ	成果
(有)サンパッ ク	耐久性・環境性に優れた『入浴時用頸椎シーネ』『カテーテル検査用シーネ』及び『起き上りアシスト用具』の開発	・製販業の取得 ・新商品の医療機器登録 ・新商品の販売開始
ファミリーイ ナダ(株)	脳波を用いた心地よいマッサージ動作の 実現	<ul><li>新機能の開発</li><li>新発売製品への搭載</li></ul>
(株)エッグ	整形外科関節可動域測定用デジタルマル チ角度計の開発	・新商品の開発 ・販路獲得

・平成30年度は以下の3社を採択。

企業名	テーマ	申請区分
(株)トライア ングル	冷凍機によるクライオセラピーの設備開 発	• 医療機器開発
気高電機(株)	医療用「加温加湿器」の機器認証と IS013485 認証取得	・IS013485 認証取得 ・医療機器認証申請
(有)ホームケ ア渡部建築	動物用免荷式歩行支援機器「ワン'more」 の開発	・医療機器開発(動物分 野)

- ・医療機器製造業、同製造販売業の許可取得企業:2社2件(累計10社15件)
- ·IS013485取得企業: 0社(累計5社)
- ・新たな医療分野参入企業:2社(累計19社)
- その他医療現場ニーズに基づいた製品開発:7件(累計31件)
- ・とっとり医療機器関連産業戦略研究会:84社
- ・本郷展示商談会出展:延べ36社/4回(うち6社は全会出展)
- · 本郷商談件数:184件/4回(本郷製販企業:51社)

事業名・内容	事業の実績等	
	○医療機器開発補助金	
	・H27 年度に採択された5社(うち1社は事業中止)について、医療・福祉関連機器の開発、	
	医療機器製造業取得、IS013485 認証取得等に関する資金支援を行った。(旭東電気㈱、예	
	山本精機、イナバゴム㈱、㈱テムザック、㈱スター電機)	
	医療機器製造販売業2社、同製造業各3社、IS013485を2社が取得。2社が機器開発を行	
	い、うち1社は医療機器製造業登録を進めている。	
	・H29 年度は、6 社申請、3 社採択。いずれも機器開発案件。	
	【成果】	
	・医療機器製造業、同製造販売業の許可取得企業:2社(累計9社13件)	
	・IS013485取得企業: 0社 (累計5社)	
	・新たな医療分野参入企業:3社(累計17社)	
	・その他医療現場ニーズに基づいた製品開発:7件(累計24件)	
	・とっとり医療機器関連産業戦略研究会:66社	
	・本郷展示商談会出展:延べ32社/3回(うち8社は全会出展)	
	・本郷商談件数:106件/3回(本郷製販企業:32社)	

## 2 リサイクル産業等環境分野の集積の支援

#### (1) リサイクル産業事業化促進事 業

リサイクル技術・製品化技術の向 上及び販路の拡大を図るととも に、新たにリサイクル分野に取り 組む企業を創出する。

## (1) リサイクル産業事業化促進事 | ○リサイクル産業事業化促進の状況

リザイクル産業事業化促進の状況		
項目	実績内容	
シーズ探索及び情報提供	・焼却灰中の塩化カリウム、カルシウム分離回収、濃縮・藻の培養技術(汚泥中リン回収) ・高純度シリカ抽出技術(水熱法) (16件)	
検討会・研究会の運営等	・検討会、研究会の開催(50回) ・専門家派遣(9回)	
補助金等についての助言	・助言、申請支援等(21件)	
知的所有権取得への支援	・特許及び商標出願、先行技術調査、秘密保持等 (14件)	
販路情報の提供	<ul><li>・環境展、びわ湖ビジネスメッセ 出展支援</li><li>・バイオマス資源(もみ殻、竹) 販路情報の提供</li><li>(8件)</li></ul>	

## ○事業化の主な実績

企業名等	実績内容
北溟産業	竹を原料とする竹繊維、竹粉を使用した土壌改良剤
メンズジョイ	廃棄されるカニ殻、キチンから精製したキチンナノファイバー を高濃度に配合した化粧品(ワックス、グリス)
V·TEC	廃熱(温泉熱、工場用排水)を利用して発電するユニット

#### 【成果】

・新たにリサイクルビジネスに取組む企業件数 10件

## C 県内の経営資源を利用した新商品等の開発や事業化を支援する。

## 1 研究開発への助成

## (1) 新製品事業化支援事業

県内企業が実施する実現性 が高く地域への波及効果が期 待できる新商品開発について、 調査から販路開拓までにかか る経費の一部を助成すること により事業化を支援する。

平成 30 年度からの新規事 業

·補助限度額:1,000千円

・補助率:10/10

・事業期間:最大12ヵ月

•採択件数:最大3件

#### 【実績】

区分	件数	備考
相談・問合せ件数	2 3	
うち申請件数	1 0	1件は申請後に取下げ
採択件数	3	審査会を経て採択

## 成果 (採択案件)】

11					
	企業名 テーマ		成果		
		ドライバーの振動検出アルゴリズ	汎用性の高いシステムを		
	(株)サンテクノ	ムの改良及びトルクレンチの信号	もった I T工具が完成。		
		検出技術の開発	4月より販売予定。		
	(#t) VENZEN	建設用手持ち工具支持装置の量産	試作を重ね、市販に向け		
	(株) KENZEN	化に向けた開発	た基本設計が終了。		
	(有)松村精機	白ネギ用ローラー式培土(土寄せ)	試作継続中。		
	(行)在公本的作用作及	器の開発	高4个所处形化十°。		

## 2 農林漁業者と県内企業との連携等の促進

#### (1)農商工連携促進事業

農林漁業者と中小企業者が連携し、県産の農林水産物を使い「食のみやこ鳥取県」にふさわしい新商品・新サービスの開発、販路開拓等の取組みに対し、基金運用益から助成する。

#### 【実績】

○H30年度4~12月の事業終了件数(※平成30年12月事業終了)

事業区分	H30年度 事業終了件数	総助成金額(千円)
農商工連携促進事業	3 3	121,084 (H30年度支払完了)

※H21~30年の10年間で、延べ104件が事業終了した。

(内訳) H30年度 申請·交付決定状況

- ・第1回審査会 5/24 申請件数:5件、交付決定件数:5件
- ○自主事業(公募によらない事業:機構が独自に実施する農商工連携支援事業)
  - ・商談会等開催による販路開拓支援:2回 ※詳細は【2 県内企業の受注促進・販路開拓の支援 (3) 商談会等開催事業】 の項目を参照
  - ・個別マッチング開催による販路開拓支援:3回

期日	名 称	バイヤー	セラー	商談件数	成立件数
4/12- 13	よしや個別マッチング(第1回)		8社	8件	3件
5/24	よしや個別マッチング(第2回)	1社	4社	4件	2件
11/13 -14	よしや個別マッチング(第3回)		12社	12件	7件

- ・専門展示会(スーパーマーケット・トレードショー2019)への出展支援(14社) ※詳細は【2 県内企業の受注促進・販路開拓の支援 (3)商談会等開催事業】 の項目を参照
- ・ブラッシュアップセミナー: 4回シリーズ「販路を開拓する企画力&営業力養成講座」 開催(参加10社)

開催	セミナー内容	講師
第1回 7/31	商品コンセプトつくりとターゲット絞込み	
第2回 8/28	自社製品のコンセプト作成とオリエン シート作成	一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
第3回 9/26	企画提案書作成	王国内一个一个小小勋云
第4回 10/30	実際の商品プレゼン	

#### 【成果】

- ○本事業での総助成額 268 百万円に対して、助成対象商品の総売上は 1,139 百万円となり、 事業者の新商品開発や販路開拓等に大きく寄与した。
- ○事業の集大成として「鳥取県農商工連携促進ファンド事業活用事例集」を作成した。

## (2) 農商工連携研究開発支援事業 農林漁業者と中小企業者等が手 を組んで行う農商工連携の事業 化を図るうえで、研究開発に必要 な基礎的調査、情報収集、開発検 討の取組みに対し、基金運用益か ら助成する。

## 【実績】

○今年度は本事業の申請がなかった(0件)。

#### 事業名 • 内容

## (3) 地域資源活用·農商工連携促 進事業

農商工連携マッチング担当C Dと農商工連携販路開拓担当C Dを配置し、中小企業者と農林 漁業者のマッチングによる農商 工連携の促進及び、開発された 商品等の販路開拓など、入口出 口戦略の強化を支援する。

#### ※目標

マッチング成立10件商談成立36件

(4) スーパーマーケット・トレードショー出展事業

スーパーマーケット・トレードショーへの出展を通じ、鳥取県内の食品関連企業の県外へのPR、販路拡大を支援する。 ※目標

成約件数 30件

# (5) 6次産業化総合支援事業(県補助事業)

企画推進員2名を配置し、意 欲ある農林漁業者を6次産業 化へ導くことで、農林水産物の 売上増加・付加価値向上による 所得向上を促し、一次産業の雇 用維持拡大や持続可能なビジ ネスへの転換を支援する。

#### ※目標

- ・6次産業化法認定 2件
- PL派遣による相談68件
- ・法認定事業者へのフォロー 80件

# 事業の実績等

## ○マッチング担当

区分	件数
マッチング支援件数	20 件

#### ○販路開拓担当

•		
	区分	件数
	商談会開催等による商談成立件数	44件

#### 【成果】

農商工連携商品『宝福一恂~福ノ誉~』がH30年度フードアクション・ニッポンアワード(主催:農水省)10選に選ばれた。

#### 【実績】

出展期間:2/13~15 出展事業者:14社

期日	名称・場所	出展 企業	商談 件数	成立 件数	成約金額
2/13-15	スーパーマーケット・ トレードショー2019	14社	199件	26件	21,065千円

#### 【実績】

項目	件数	備考
新規6次産業化法認定事業者	1社	さわだ農産合同会社
プランナーの派遣を通じた個別相談	96 件	
6次化法認定事業者に対するフォローアップ	36 件	
6次産業化プランナーの派遣を受けた農林漁		
業者等の課題解決率	61%	

#### 【成果】

- ・6次化に取り組む事業者の進歩管理表を作成し、支援先の実態把握や課題の明確化、また事業者の意向の確認を行うことで、支援の方向性を定める仕組みを作った。
- ・6次産業化商品『株エコファームみなか~打ち豆のやさしいご飯~』が、平成30年度「食のみやこ 鳥取県」特産品コンクール最優秀賞受賞。

### D 特許等を活用して新たな技術の導入を支援する。

## 1 特許技術の活用及び流通の支援

# (1)知財総合支援窓口運営業務事業

中小企業の知財活用支援の県中核機関として知財の課題等を一元的に受け入れる「知財総合支援窓口」を設置し、ワンストップサービスを提供する。(一般社団法人鳥取県発明協会とのコンソーシアム)。

### 【実績】

### ○支援状況

特許、商標、意匠の出願手続き支援、類似案件調査、事業モデル構築、知財契約関連、ブランド構築等の支援等

項目	目 標	実 績	達成率
相談支援件数	1184件	1221件	103.1%
専門家活用件数	187件	236件	126.2%
発掘活動	60件	6 2件	103.3%

#### 【成果】

○鳥取県内に常設の窓口を本部、西部支部の2ヶ所、および臨時窓口を6ヶ所設置し、知的財産に関する相談・支援を行うと共に、相談者の拡大や県内における各関係支援機関との連携促進等を実施し、相談支援件数、専門家活用件数共に目標を達成。

#### 事業名 • 内容

#### (2)特許流通支援事業

県内企業等の特許導入による 研究開発投資・リスクの低減、 新商品開発の促進、また、自社 特許を他社へ流通させることに よる収益の向上を促進するた め、特許流通の普及啓発・ライ センス等のマッチング等を実施 する。

#### 事業の実績等

#### 【実績】

○特許流通CDの支援状況(新商品化、新事業化に繋がる知財マッチング)

支援項目	件数等	備考
成約件数	46件	

○成約件数46件の内訳

区分	件数	備考
特許実施許諾	13件	
共同開発·共同出願	8件	
秘密保持契約・覚書	25件	

#### 【成果】

○成約件数は、本年度目標30件に対し、46件(153.3%)で目標を達成。

## (3)知的財産活用ビジネス支援事業

知的財産を活用した事業の事業化による収益の向上を図るため、企業等の企画段階から事業化まで包括的な支援を行う。

#### 【実績】

○知財活用事業化案件等の状況(知財を活用した企画から販売までの一貫支援)

支援企業件数	会社名
	㈱フジタ、㈱LASSIC、侑サンパック、エンドウ商事㈱、ジ
9件	ーアイシー㈱、ブリリアントアソシエイツ㈱、日本マイクロシス
	テム(株)、(株若葉テック、SUNIN製炭工業株)

○知財ビジネスマッチング開催

9/12 富士通、富士通セミコンダクター、日産自動車、キューピー、イトーキ 参加

#### 【成果】

- ・ジーアイシー:見守りシステム「Mittell」県のトライアル制度等を活用して拡販
- ・日本マイクロシステム:日産自動車とAGV監視システムについてライセンス契約締結
- ・県内A社 : 日産自動車と「コンテナの自動折畳装置」についてライセンス契約締結

#### (4)特許流通フェア事業

県内企業が保有する特許技術の 県外への売り込みを促進するため、実施許諾先となり得る企業が 多い大都市圏において開催され る展示会に出展する。

### 【実績】

○2018NEW環境展 4社出展

大協組、鳥取再資源化研究所、日本マイクロシステム、藤森産業

#### 【成果】

○3月末時点で商談成立1件

## (5)中小企業外国出願支援事業 県内中小企業者等が行う海外へ の戦略的な特許出願等に対する 支援(補助)を行う。

## 【実績】

○県補助金 PCT特許出願 2件採択

マドプロ商標出願 2件採択

○国補助金 特許 4件採択

商標 3件採択

## Ⅲ 高度産業人材等の育成の支援

- ~ 県内産業の高度化に資する人材の育成・確保を支援する。
- 1 県内産業の人材育成のためのセミナー等の実施

## (1) 産業人材育成支援情報発信事 業

県内企業の人材育成支援を効果 的に実施するため、県内企業へ情 報提供を行うウェブサイト(とっ とり step)の運営管理を行う。

#### 【実績

○「とっとり s t e p」の運営状況

項目	全体	うち鳥取県内
サイトアクセス件数	6,790件	2,947件
s t e p登録件数	91 件	91 件

#### 【成果】

○登録件数・アクセス件数ともの減少傾向にあるが、県内企業等からの利用が半数近くを占めており、認知度は高い。

## 2 高度専門的な人材育成のためのセミナーの開催

## (1)ものづくりカイゼン塾開催事

ものづくり企業の競争力強化や 新分野等への参入を行うために、 生産管理の重要性、提案力・プレ ゼンテーションの向上、商品企 画・開発、新分野参入を目指した セミナーを開催する。

## 【実績】

○セミナー等開催状況

ヒミナー寺	州性伙儿		1
実施日	名称	講師・講演内容	参加者数
11/17	デジタルものづく りを活用した商品 開発セミナー	講師1: (株) 戦国 代表取締役 美崎 栄一郎 氏 演題:「発想を変えると、簡単に売れる 商品が作れます!地域におけるモノ作 り」 講師2: (株) ダヴィンチ・ブレイン ズ 代表取締役社長 石川 耀弓 氏 演題:「隠れたチャンピオン企業達! 〜地域を元気にするモノづくり〜」	5 4名
1/11	若手社員育成セミ ナー「生産性向上 アイデアソン	ファシリテーター:エイチタス株式会社 代表取締役社長 原 亮 氏	4 5名
3/4	経営者セミナー(鳥取会場)	講師: (株) ブレイン・サプライ 代表取締役 岡 弘己 氏 演題:「今後の日本と働き方を考える」 〜働き方改革と新時代の人事労務対 策〜	4 0名
3/5	経営者セミナー (米子会場)	講師: (株) ブレイン・サプライ 代表取締役 岡 弘己 氏 演題: 「今後の日本と働き方を考える」〜働き方改革と新時代の人事労務対策〜	3 2名

#### 【成果】

○本年度開催したセミナー数は、昨年と比較して減少したが、何れのセミナーも関心度は高く、参加者から「満足」の割合が高い結果となった。

## (2) 中小企業情報化促進事業 「中小企業に対する情報化支援 活動の強化」を推進すること で、県内企業が情報化について 模索する課題の解決を図る。

#### 【実績】

○セミナー等開催状況

実施日	名称	講師・講演内容	参加者数
1/12	「IoT実践セミナー鳥	講師: IVI インストラクター4名	9名
_,	取版」フォローアップ	ものづくり ITサポーター4名	
	研修	内容: IoT 実践セミナーでの現場	
		改善手法習得を踏まえ、各社にお	
		ける個別具体の課題解決のため	
		の個別指導・研修を実施。	
2/26	IoT導入実証報告会	内容:IoT実践セミナー参加企業	90名
		各社の実証実験の取り組み発表	
		の場として開催。	
		基調講演講師:関ものづくり研究	
		所代表 関 伸一 氏	
		演題:「AI と IoT で私たちの工場	
		はどう変わるか」	

事業名・内容	事業の実績等						
	県内製造			験の取り組みを進める( る契機となる取り組みと			
(3) I S O 内部監査員養成セミナ	【実績】 ○実施状況						
県内企業のISO認証取得に必			崔場所	セミナー名	受講者数		
要となる人材を育成するため、I	l —	16-18 鳥取市		監査員養成セミナー	28名		
SO(9001、14001)内部監査員	10/3	30-11/1 倉吉市	IS09001 内部	R監査員養成セミナー	28 名		
)養成セミナーを実施する。	11/1	13-15 鳥取市	IS014001 内i	部監査員養成セミナー	23 名		
《政策目標 受講者 100名	11/2	28-30 倉吉市	IS014001 内	部監査員養成セミナー	12名		
4) スマートものづくり応援隊事 業	の参加	・一等開催状況		たセミナーを開催して	NIT LIN		
のづくり現場の経験豊富な企業OBを、IoT導入の応援隊(指	実施日	テーマ	内容	講師等	参加者数等		
導者)として育成・派遣すると ともに、企業在職者を導入リー	6/14	開校式 IoT ものづくり概論	IoT ものづくり概論	渡邊 嘉彦 氏 矢崎総業㈱	12 社17名、0B6 丿		
ダーとして育成することにより、県内企業の IoT 導入を支援する。	6/19 6/20		現場改善基礎知識の習得	関 伸一 氏 関ものづくり研究所代 表	13 社23名、0B5名 4社6名、0B5名		
	6/28 6/30		現場改善の進め方	植條 英典 氏 (㈱実践マネジメント研究所 代表取締役	12 社 20 名、0B6 名 4 社 5 名、0B5 名		
	7/12 7/13 ものづくり講函	ものづくり講座	原価管理	中原 正季 氏 (独国) 米子工業高等 専門学校 非常勤講師	11 社19名、0B5名 7社9名、0B5名		
	7/20 7/21		生産管理	顯谷 敏也 氏 (株)万ィックス 代表取締役 (中小企業大学校広島	11 社16名、0B6名 3社5名、0B5名		
	1/21			校講師)			
	7/26 7/27		IoT/AI の世界動向と 新しいモノづくりの 在り方	校講師) 古賀康隆氏 (一社) IVI 技術統括	12社17名、0B5年 5社7名、0B5名		

IoTデバイス

利活用講座

IoTデバイス導入実例

生産管理システムの

概要

8/9

8/10

8/23

8/24

(大) 鳥取大学工学研

究科

特任教授 工学博士

市本 秀則 氏マツダ(株)技術本部

生産企画部主幹 中村 昌弘 氏

(株ルクサー・リサーチ代表取締

役

10社14名、0B6名

6社9名、0B5名

12社19名、0B5名

7社9名、0B4名

事業名・内容	事業の実績等				
	9/14	IoT 改善手法 講座	グループワーク(1) 悩み事の見える化・ 共有と現状 AS-IS 像 を描く		10社15名、0B5名
	9/15	※IVI 地域セミナー	グループワーク(2) あるべき姿 TO-BE 像 を描く・IoT を活用し た実現手段を描く	IVI 地域セミナー講師	9社12名、0B5名
	10/22 10/23	IoT 導入 フォローアップ講座	IoT 導入に向けたフォロ ーアップ	IVI 地域セミナー講師	5社7名、0B4名 7社7名、0B5名
	12/3 ~ 12/19	現場実習・ 改善提案	現場実習・発表・提案	IVI 地域セミナー講師	3社5名、0B2名 2社3名、0B1名 3社3名、0B1名 3社5名、0B1名
	2/21 2/22	成果報告会	現場実習・発表・提案	IVI 地域セミナー講師 中村 昌弘 氏	5社11名、0B6名 聴講者38社·58名 5社8名、0B3名 聴講者42社·66名
	【成果】 ○8ヶ月に渡る育成スクールで、在職者11社26名及びOB6名が同スクールを修了した。 スクールの最後に開催した「成果報告会」には東部・西部の2会場で合わせ80名近く(受講生含)の集客となり、県内企業のIoT導入に対する関心の高さを窺い知れる盛況ぶりとなった。 今後は、次期スマートものづくり応援隊育成スクールの開講や、スマートものづくり応援隊派遣の実施に向けて、企業の困りごとを吸い上げ、的確な支援につなげていくこととしたい。				

事業の実績等

## IV 産学金官の連携促進の支援

- ~ 研究開発の中核機関として、県内産業における新技術の開発や新分野への進出を支援する。
- 1 染色体工学研究拠点の形成
- (1) とっとりバイオフロンティア 管理運営事業

鳥取県より指定管理者の指定(平成26年度~30年度)を受け、とっとりバイオフロンティア施設の居室・機器の企業・大学への貸し出しを行うほか、施設内の清掃・機器管理等の業務を行う。また、施設利用者への機器操作の支援、研究開発・事業化に関する相談を行うほか、とっとりバイオフロンティア内にバイオ人材育成CDを配置し、バイオに係る専門人材育成のための研修プログラムを実施する。

#### 【実績】

- ○施設の利活用
- 実験室等施設入居状況

CONCENTION OF VIOLE					
区分	設置数	利用数	備考		
居室	4室	4室			
実験室	4室	4室	機が「エージー 6月末退去 →株Trans Chromosomics 8/16入居		
動物飼育室	4室	4室			
オープンラボ	1室	1室			

• 2階機器利用状況

区分	利用回数	備考
4~3月	38,207回	前年同期比11%增 前年34,184回

※H30年度より鳥大5階機器は外れた

- ○バイオ人材育成講座開催 18講座338名参加(前年同期25講座492名参加)
- ○利用促進・入居企業支援活動
  - ・入居者の施設利用利便性向上のため意見交換会及び交流会を実施(7/31)
  - ・企業訪問等 28社、視察対応 11社
  - ・産学官の共同事業「きのこプロジェクト」を支援
  - 論文掲載報告 5件
  - · 展示会等出展

日程	展示会	場所	出展者数
6/4-6/7	BIO	ボストン	1社
6/27-29	第2回バイオ医薬 EXPO	東京	2社
10/10-12	Bio Japan 2018	横浜	4社
2/23-25	第5回再生医療 産業化展	大阪	3社

#### 【成果】

- ・㈱ケーエーシー撤退により、一時期空室が出たが、入居企業の増室等により現在は満室である。
- ・鳥取大学側と調整し、飼育器材の設置スペースを整備したことにより、動物実験実施者が日常的に飼育施設を管理する際に飼育器材の搬出および搬入の利便性が向上した。
- ・地域イノベプログラムで「キノコプロジェクト」開始され、プログラムは一昨年で終了したものの、プロジェクト自体は産学官の連携で継続され、成果も徐々に増え、事業化に向け進んでいる。
- ・ 論文掲載報告をしてもらうようになったことで、 当施設での研究成果が目に見えてわかる ようになった。
- ・化学物質管理委員会・職場巡視の実施等、行い、館内利用者の白衣の着用率は向上した。
- ・近年横ばいであった開放機器利用回数が伸びた。(創薬実証センター開設や各企業の研究 推進による伸びと推察)
  - ・人材育成セミナーでは、バイオテクニシャン養成講座の受講者7名が技術士補(生物工学)の資格を取得した。重点的に開催した染色体工学技術活用講座では、受講者と講師との密な議論を契機として複数の共同研究が開始された。バイオビジネス実践講座を通じて、ベンチャー企業における信頼性保証体制の構築について理解が深まった。

# (2) とっとりバイオフロンティア 基金事業

基金を設置し、施設整備等を行い、利用者へのサービス向上と施設機能の充実を図ることで、共同研究の推進や研究開発の強化を支援する。

#### 【実績】

- ・平成30度 4,064千円造成。
- ブロックインキュベーターの設置

#### 【成果

・備品の設置により、利用者の利便性、研究環境が充実した。

#### 2 ものづくり分野における新たな基盤技術の開発等

## (1) 戦略的基盤技術高度化支援事業

川下企業ニーズに基づき、ものづくり中小企業を核として技術開発、新商品開発を行う提案事業。国の定めた12技術分野(鋳造、鍛造、切削加工、めっき等)の向上につながる研究開発からその試作までの取組を支援する。(中国経済産業省補助の3年度間事業)。

#### 【実績】

- ○新規採択案件
- •申請支援2件、採択1件
- ○進捗状況

#### 【新規案件】

・テーマ: ナビゲーションガイドと評価機能を付与し、自主学習を可能にする内視鏡用医療 教育シミュレータロボットの開発

構成企業:(株) MICOTOテクノロジー(プロジェクトリーゲー)、鳥取大学、鳥取県産業技術C 進捗状況:今年度は開発項目を順調にクリアし、当初目標を達成して事業を終了。

(事業期間:平成30~31年度)

## 【継続案件 ※平成31年度で終了】

・テーマ:自動車用クリアランスソナーケースなどのアルミニウム合金複雑形状品の高効率 生産を実現する革新的精密インパクト成形技術の開発

構成企業:田中製作所(プッジェクトリーダー)、鳥取県産業技術C、産業技術総合研究所 進捗状況:試作完成品としての製品目標値をクリアし、当初目標を達成して事業を終了。 【成果】

新規案件の掘り起しに向けて、昨年度から企業の相談に対応、申請書のブラッシュアップ、 事業運営体制の構築に向けて助言を進めた結果、2社が申請、1社の採択を受けることができた。また、事業管理機関として、各案件とも適切に経理処理方法等を指導し、中国経産局へ報告することができた。

# (2) 鳥取県産学共同事業化プロジェクト支援事業

産学官連携による新産業創出 を促進するため、県内中小企業者 と県内大学等の研究機関が共同 プロジェクトとして実施する事 業化を目指した研究開発への取 組を支援する。

## 【実績】

- ○新規採択案件
- ・申請支援2件、新規採択なし
- ○進捗状況

#### 【継続案件 ※平成31年度で終了】

- ・テーマ:新たな市場を開拓する色鮮やかな新ジャンル日本酒の開発
- ・構成企業:鳥取県産業技術C、ブリリアハアバエイツ(株)、千代むすび酒造(株)、(株)nido、(株) BBStoneデザイン心理学研究所
- ・ 進捗状況: 今年度は開発項目を順調にクリアし、当初目標を達成して事業を終了。

#### 【成果】

今年度は、2案件について対応、申請書のブラッシュアップ等を進め申請したが、採択 を得ることができなかった。

継続案件については、事業管理機関として適切に経理処理方法等を指導し、県へ報告することができた。

事業名・内容		事業の実績等				
V 管理運営体制の確立						
~ 公益財団法人の適正な管理・資	~ 公益財団法人の適正な管理・運営に資するよう、組織体制の整備等を図る。					
(1)事業の継続性の確保	○支援体制の構築					
組織体制を強化し、プロパー職員	基幹事業を実施するため、プロパー職員のほか各事業のマネージャー、コーディネーター					
を中心とした運営体制への移行	及びスタッフ等の人員を配置					
を図るため、当財団が実施すべき	○人类は却然四、っこ)の道1					
核となる事業を「基幹事業」としては異なる事業を「基幹事業」としては異なる。	○企業情報管理システムの導入 - 関東の業務の標準な出去し、タギー	上位に江田ナッセル人学が押、っこ)(〇11) と送る				
て位置付け、事業継続性を確保する。		友援に活用するため企業管理システム(CIM)を導入。				
るとともに、その実施に必要な組織サスドト号の宝米ルカ図ス		【支援区分】を設定し、企業に対する支援状況が一元的				
織及び人員の定数化を図る。	に管理できる等の改良を加えた。					
※政策目標 企業支援の技術・ノウハウ定着						
キャリアアップシステム確立						
(2)施設管理事業	○					
当財団の施設を入居室として	・入居や 39.5% (H31.3.31現在)					
企業に貸し出すとともに、入						
居企業等利用者の安全な利用	○『暗寺の人だ   機構本部施設の屋根等の大規模修繕の実施(3年計画が終了)					
環境の保全を図る。	「及門・平口が固攻・万主」は守・ラブへが同矢形が					
(3)情報発信						
当財団の事業等を広く周知する	区分	内 容				
ため、電子媒体により情報を発信	ホームページによる情報	○各種商談会、展示会、セミナー、補助金制度等				
する。		の案内				
	メールマガジン	○定期刊行物の発行・配信(毎週)				
	アトリウム商品展示	○機構本部アトリウムにおける商品紹介展示				
		(株)ジーアイシー、(株)サンテクノ、(有)サンパ				
		ック、宝福一(有)、日南トマト加工(株)、菌興椎				
		茸協同組合、アレンジ(株)、大山こむぎプロジェ				
		クト、千代むすび酒造(株)、鳥取廣信青果(有)、				
		(株)鳥取カレー研究所、(有)田畑商店、(株)アサ				
		ヒメッキ、旭東電気(株)、(株)シセイ堂デザイン				
	11					